

海外安全対策情報
(2021年10月～12月分)

在フィリピン日本国大使館

1 治安情勢

- (1) フィリピン各地における新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種実施が一定程度進んだ事により一時期ある程度鎮静化した。オミクロン変異種等の新たなウイルスが流行する可能性も認められ、引き続き厳重な感染防止対策が必要である。
- (2) また、フィリピンのマニラ首都圏においては、邦人が自宅において強盗の犯罪被害に遭う事例が報告されており、生命と身体の安全を最優先に考え、被害防止に注意する必要がある。

2 一般犯罪の傾向

インターネットの交流サイトで知り合った比人から婚姻や恋愛関係を持ちかけられその諸費用を名目に多額の金銭を要求される詐欺、恐喝被害が発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人を被害者とする事件の発生は認められないが、安全対策には引き続き十分注意する必要がある。

4 日本企業の安全に関する諸問題

当地においては、一般的に企業及び個人に対する恐喝、脅迫、誘拐等が生じるおそれがあること、過去に日系企業（社員）や関連企業（現地法人）に対する脅迫事件も報告されたこと等を踏まえ、進出日系企業関係者は、企業及び社員の安全に関し注意する必要がある。

また新人民軍（NPA）は、地方に展開する民間企業に対して、「環境破壊」、「住民搾取」等を口実として「革命税」を要求し、企業側が応じない場合には、脅迫、恐喝、襲撃（主に農園等の各種機材破壊）等を行っていることから、現地採用職員の動向も含め、日頃から情報収集を行うなど十分な注意が必要である。またミンダナオ地域の中部以西では、アブ・サヤフ・グループ等イスラム系武装勢力の動向に細心の注意を要する。

5 その他

新型コロナウイルス感染症の感染予防に万全を期すとともに、コミュニティ隔離措置、感染状況、医療事情、航空便、入国・帰国規制（検査・検疫を含む）等に関する最新情報に留意する必要がある。